

みんなの ひろば



※上のイラストは、題字と同じ内容を
指文字と手話で表したものです。

主 な 内 容

- 創立50周年を迎えて 1
- 創立50周年記念式典 2、3
- 日本博を契機とした障害者の文化芸術
フェスティバルin東北ブロック 4、5
- オンラインを活用した研修について 6
第44回全国社会福祉事業団実践報告・
実務研究論文入賞!!
第29回岩手県障がい者文化芸術祭
- 各施設・事業所から 7
- 製品紹介(ワークなかやま、みたけの園) 8
新採用職員紹介
研修受付システムの紹介

第 **139** 号

令和4年2月28日
発行

創立50周年を迎えて



理事長 佐々木 信

岩手県社会福祉事業団は、県立社会福祉施設の効率的な運営を行い、県民福祉の向上に資することを目的として昭和46年12月に設立され、以来、それぞれの時代の福祉課題や社会福祉基礎構造改革等の制度改正、県立施設の経営移管などに対応しながら歩みを重ね、このたび、創立50周年を迎えました。

現在、17の施設と38の関連事業所等を運営しており、利用定員は約1,300人、職員数は800人を超える県内最大規模の社会福祉法人として、地域のニーズに応え、先駆的な事業の実施や支援が困難な方の受入れなどにより、本県の福祉施策におけるセーフティネットの役割を担っています。

これまで御指導、御支援くださいました岩手県をはじめ関係機関・団体、そして地域の皆様方に、心より御礼申し上げます。

昨年12月20日、県や県議会、関係市町・団体の皆様等の御出席の下、記念式典を開催いたしました。式典では、当事業団の各施設の運営に多大なる御協力をいただいた団体・個人に感謝状を贈呈するとともに、岩手大学教育学部の清水茂幸教授から人材育成をテーマとした記念講演をいただきました。

近年、社会構造や家族構成が変化する中、制度・分野ごとの縦割りや「支え手」「受け手」という関係を超えて多様な主体が参画する地域共生社会の実現に向けた取組が求められています。また、東日本大震災や頻発する大雨洪水災害、さらには新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、日常の穏やかな暮らしが脅かされる事態が度々生じています。

私たち社会福祉事業に携わる者は、エッセンシャルワーカーとして、今まで以上に、質の高いサービスの提供と地域福祉の推進に取り組んでいく必要があります。

この創立50周年を契機に、これまでの歩みを振り返るとともに、今後のより良い法人経営、施設運営への想いを新たにし、役職員が一丸となって「中長期経営基本計画（令和3年度～令和12年度）」の着実の推進に取り組んで参ります。



創立50周年記念式典

令和3年12月20日、当法人創立50周年記念式典を、ホテルメトロポリタンニューウイングにおいて、施設が所在する市町村、運営する施設をご利用いただいている利用者のご家族の代表等約100名の方々にご出席いただき、開催いたしました。

当日は、来賓としてお越しいただいた達増拓也岩手県知事代理野原保健福祉部長、五日市市王岩手県議会議長、そして、長山洋岩手県社会福祉協議会会長からご祝辞を賜りました。

また、式典では、永年にわたり、各施設運営にご協力いただいた34の団体・個人に感謝状を贈呈しました。受贈者代表として、和光学園において行事等のボランティアをしていただいている「盛岡地区BBS会」大志田愛理会長から、「子どもたちとふれあうことに、喜びを感じている。子どもたちとより濃い時間を過ごしたいという思いが膨らんでいく経験は、何にも変えがたいものだと思っている。社会的養護を必要とする子どもたちに何ができるのか考える貴重な機会をいただいた。新型コ



岩手県保健福祉部長 野原 勝 様



岩手県議会議長 五日市 王 様



岩手県社会福祉協議会会長 長山 洋 様

ロナウイルス感染症の予防策として、定期訪問が出来ていない状況であるが、私たちが出来ることを日々考え精進していきたい。」とのごあいさつをいただきました。

また、岩手大学教育学部の清水茂幸教授が、「人を育てる」教育者指導者として大切にしたいこと」と題して記念講演を行いました。講演では、「コーチとして一番大切なことは愛情をもつて、その人を信じ最後まで寄り添い成長を待つこと、より良い環境に道筋を開き感じさせてあげること、個々に力を伸ばす能力は違うと認識し指導すること」など、人を育てるうえで大切なことをお話しいただきました。また、日本代表コーチとして参加した東京2020オリンピックでの貴重なお写真とエピソードもご披露いただきました。人を育てる大切さを肝に銘じ、当法人の今後の人材育成に役立てていきたいと思っております。



感謝状贈呈

記念品



写真立て等ガラス製品



ドリップコーヒーとまめまめクッキー



講師：岩手大学教育学部 教授 清水 茂幸 氏

基調講演



受贈者代表挨拶

当事業団の各施設の運営に 多大なるご協力をいただきました皆様

和光学園

盛岡地区BBS会様
盛岡個人タクシー協同組合様
盛岡市赤十字奉仕団様
盛岡八幡宮崇敬会様
有限会社 山田美容院様
株式会社NTTドコモ東北支社様
株式会社 日配運輸様
中部遊技機商業協同組合様
長松院花園会女性部様
東北遊技機商業協同組合様
盛岡中津川ライオンズクラブ様
菱和建设株式会社様

たばしね学園

鈴木 絹代 様
たばしね学園おもちゃ図書館
おもちゃドクター 様
元前沢婦人会 様

松山荘

リアス観光株式会社様

好地荘・松風園

好地荘・松風園地域防災協力隊 様

中山の園

田村 明子 様
上山 勘一 様
二戸町消防団第9分団 様

みたけの園

カフエド・グリグリ様
自動車総連 部品労連
みたけの園 地域防災協力隊 様
ミクニ労働組合 様

やさわの園

田村 太伸 様
株式会社 理水興業 様

療育センター

社会福祉法人岩手愛児会
こころさわ学園 様

視聴覚障がい者情報センター

NTT・OBボランティアもりおか様
岩手手話通訳問題研究会 様
岩手パソコン要約筆記サークル
「あいたち」 様

岩手盲ろう者友の会 様

特定非営利活動法人 デイジー岩手 様

特定非営利活動法人 岩手音声訳の会 様

特定非営利活動法人 岩手点訳の会 様

要約筆記通訳「いわて」 連絡協議会 様

Special Thanks

花柳光明子 様
田崎飛鳥 様
田崎美代子 様
フレンズドリーム 様
荒川知子とファミリーアンサンブル 様
ぎゃらりーら・ら・ら 様
柳沼輝 様
北海道新篠津高等養護学校 様
@かたつむり 様
一般社団法人ドリームファーム 様
社会福祉法人南高愛隣会 様
社会福祉法人いわみ福祉会 様

東京演劇集団「風」 様
葛西孝之 様
福士大地 様
平川慧 様
浅野春香 様
阿部勝康 様
平祐哉 様
大関小夜子 様
後藤春枝 様
高橋和彦 様
Takeuchi Tomoaki 様
田湯加那子 様
西川智之 様
平野智之 様
吉田格也 様
平野友愛 様
阿部恵子 様
水沼久直 様
奏 様
佐藤理恵子 様
青木尊 様
櫻林健志 様
坂本三次郎 様
滝瀬新 様
戸舎清志 様
濱中徹 様
藤井将吾 様
与那覇俊 様

日本博を契機とした 障害者の文化芸術フェスティバル in東北ブロック

Art Brut Creation Nippon in Iwate

日本博を契機とした障害者文化芸術フェスティバルは、「日本人と自然」をテーマに障害者の視点を通じて国内外に発信する文化芸術フェスティバルです。これは、滋賀県でのグランドオープニングを皮切りに2020年から2022年にかけて、全国7カ所で開催するイベントであり、2021年10月に、東北ブロックとして岩手県盛岡市で開催されました。

メイン会場となった、いわて県民情報交流センターアイーナでは、花柳光明子さんによる日本舞踊の上演を始め、事前に収録された、障害者団体によるパフォーマンス、陸前高田市の作家田崎飛鳥さんの表現からみる被災地への思い、農福食の取組紹介、バリアフリー演劇、バリアフリー映画などを上映しました。

ギャラリーでは、「アール・ブリュットー日本人と自然展」を開催。東北出身の作家さんによる造形作品に加え、全国の作家さんの作品も展示しました。

また、肴町アーケード会場のまちかどギャラリーには、アイーナに展示された作品の中から数点をピックアップし、レプリカを展示しました。2日間の開催で、のべ約1,900人のお客様にご来場いただきました。開催にあたり、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



舞台芸術ライブ講演
～花柳流日本舞踊～



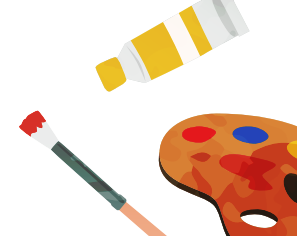
復興への思いを世界に発信
～飛鳥さんの表現から被災地をみる～



舞台芸術講演
(事前収録映像の上映)



バリアフリー演劇
「ヘレンケラー～ひびき合うものたち～」



アール・ブリュットー日本人と自然展
(ギャラリーアイーナ)



オープニングセレモニー



まちかどギャラリー
(肴町アーケード)

農×福×食 from 東北
(事前収録映像の上映)

オンラインを活用した研修について

事務局 人財マネジメント課
主事 長澤 俊介

コロナ禍により集合研修での参加者同士の交流の機会が減り、またオンライン研修が増えることで、他施設職員との交流が取りにくい状況となっています。

特に、新採用職員にとって1年目の研修は同期との交流による貴重な情報交換の場となることから、zoomを使用したオンラインのグループワークを行うこととし、1グループ5～7人で1時間のグループワークを行いました。

ワークのテーマを「採用からこれまでに学んだこと・今後取り組むこと」とし、進行役は人財マネジメント課職員が行いました。最初は緊張している様子でしたが、ワークが進むにつれて活発な発言や質問もあり、グループ内の職員と打ち解けている様子でした。

また、翌週に対面で行われた新採用職員研修では、職員間での交流も見られました。

事後アンケートからは、「web上ではあったが同期と交流できてよかった」「他施設の方

の意見を聞くことができ
よかった」などの意見がある
一方で、「声が聞き取りづら
い」との意見もあり、次回に
向けて検討していきたいと
思います。

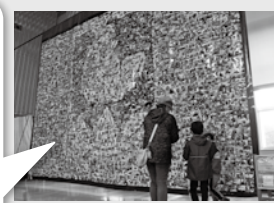


ニッコロモザイクアート完成！

子どもの森に特大モザイクアートが出現！
「おうち時間が増えた中、写真を見返しながら
親子で思い出話などをしてもらえたらいいね」
ということで始めた企画、「子どもの森deニッ
コロ写真コレクション」。そこで募集した写真
と、当館が撮りためてきた写真約2,000枚
を使って制作しました。たくさん笑顔に癒
され、時に懐かしみながらの制作は、大変なが
らも温かい時間でした。
モザイクアートは、来春まで掲示予定です。
ぜひ見に来てください。



モチーフは子どもの森の
公式キャラクター
「ぼけっとりー」！



約4m×6mの
モザイクアートは迫力満点

秋のパン祭りを開催しました！

コロナウィルスの制限下のお楽しみ企画と
して、利用者さんのリクエストでパンが1番多
かったことを受け、手作りパンをバイキング形
式で提供するパン祭りを11月に開催しました。
パンの種類は、リクエストの中から、甘いパンと
しょっぱいパンを利用者さんに投票してもら
い、双方のベスト3から選ぶこととしました。
当日は、利用者さんがパンを自分で選んで取
るという体験が新鮮だったようで、利用者さん
からは、「楽しかった」「美味しかった」「またや
って欲しい」などの感想があり、2回目の開催も
検討しています。



みなさんの投票で選ばれた
パンの前でニッコロ♪



楽しく、美味しく
頂きました♪

みたけの園

子どもの森

各施設・事業所から

コロナ禍で様々な制限がある中、少しでも利用者様に楽
しんでいただけるような活動を提供しています。今号で
は、施設・事業所の取組や活動についてご紹介します。

児童デイサービスセンター 「あつるばい」

地域生活支援センター 「ひこうせん」

ハッピーハロウィン！

10月のある日、「あつるばい」で、ハロ
ウィン行事を行いました。

「ハリーポッター」の音楽とともに、突然現
れた魔女。悪い人を追い払おうと仮装をし
ましたが、魔女の姿に逃げ回る子どもたち。
お菓子をくれない大人たちへいたずらど
ろではありませんでした。

それでも、少しずつ近づいて魔女とも握
手ができ、お菓子をもらうことができました。



魔女の怖さにちょっぴりタジタジ…。
でも、「お菓子ちょうだい!!」

リサイクルがつなぐ地域交流

ひこうせんでは、地域や社会に貢献できる活
動のひとつとして「ペットボトルキャップのリサ
イクル活動」に取り組んでいます。地域の皆さ
まのご協力を頂きながら取り組んでおり、作業
を通して様々な方々と関わりを持てることが
利用者の皆さんの励みにもなっています。
先日小学校を訪問した際には、児童の皆さ
んの姿に「めんこいな。」と目を細め、「ありがと
うございます。」と少し照れた様子で、キャップ
を受け取っていました。



岩手町立一方井
小学校を訪問



学校で集めたキャップを
お預かりしました

第29回 岩手県障がい者文化芸術祭

令和3年11月11日～28日まで、第29回岩手県
障がい者文化芸術祭を開催しました。

応募作品展は、ふれあいランド岩手のエントラン
スホールを会場に行われ、県内各地から応募いた
だいた336点（絵画、書道、工芸、写真、文芸）もの
魅力あふれる作品が展示されました。

ふれあい音楽祭2021は、新型コロナウイルス感
染拡大防止のためステージ発表は行わず、昨年度に
引き続き、Webでの動画配信となりました。楽器
演奏やダンス、合唱など多彩なパフォーマンスを
ご披露いただきました。

作品をご出展いただいたみなさま、動画をご提供
いただいたみなさま、ありがとうございました。



ふれあいランド会場 作品展示の様子

第44回全国社会福祉事業団 実践報告・実務研究論文入賞!!

令和3年度全国社会福祉事業団協議会実践報告・実務研究論文
に当事業団から5編の応募をし、2編が入賞しました。おめでとう
ございます。

優良賞

好地荘

佳作

「転倒虫（てんとうむし）を発見！撃退せよ」
「やさわスタイル〜ワンダフルなライフスタイルを目指せ〜」



製品紹介

当法人の事業所で、生産・販売している製品をご紹介します。



オリジナル缶バッジ・マグネットお作りします!

ワークなかやま

ワークなかやまの「缶バッジ」「マグネット」は子どもから大人までとても大人気の商品です。スポーツ少年団の贈り物として、会社などのロゴマークや名札として、場面に合わせてオリジナルの缶バッジを作ることができます。また、地域の催しや中山の園祭りでは、自分の描いたイラストをその場で缶バッジにできる体験会も行いました。

缶バッジ製作を担当する利用者からは、「力の要る作業で、円の中で模様がずれないようにするのが大変だけど、完成したときの達成感は堪らない」と笑顔で教えてくれました。

お客様のイメージに合わせて、1個1個手作業で丁寧にお作り致します。オリジナル缶バッジ・マグネットを作ってみませんか?

※見本



直径38mmの缶バッジ・マグネット
1個180円(税込)

問い合わせ先

- 担当：竹田
- TEL/FAX：0195-35-2067
- E-mail：work@nakayama-g.jp

「人にやさしく、地球を大切に」をモットーに

みたけの園

みたけの園では、廃棄ガラスをリサイクルしたガラス製品を制作しています。回収したガラスから製品にするまで、使用するサイズへの裁断、色付きビンの砕き、洗浄、絵付け、電気釜での焼成、やすり仕上げと全て手作業にて行っています。そのため、一つの製品を作るのに最低でも2日かかっています。

手描き故の味わいのある模様、砕いたガラス粒に飾られた器など、手間暇かけたガラス製品は一つ一つ違う表情を見せてくれます。

興味をお持ちの方は、是非お問い合わせください。



左：ペン立て 1個600円(税込)
中央：写真立て1個1,100円(税込)
右：ガラスキャンドル(中) 1個3,500円(税込)
※その他、箸置き、マグネット等の製品も制作しております。

問い合わせ先

- 担当：三河
- TEL：019-641-0205
- E-mail：gakuen-sono@mitake-group.jp

令和3年度 新採用職員紹介

令和4年
1月1日採用



中山の園
看護師

いずみ やま ゆき こ
泉 山 幸 子

〈マイブーム〉
読書・料理
笑顔を忘れず、優しい
看護をめざします。

人財マネジメント課からお知らせ ～研修受付システムを導入します!～

当法人の自主事業として実施している社会福祉研修等において、オンラインによる研修受付システムを導入することといたしました。

利用していただくには、各事業所で登録が必要となりますが、今まで、郵送やFAXなどで研修案内や受講申し込みを行っていましたが、研修システムを導入することにより、オンラインで研修内容の検索や、受講申し込み、キャンセルが簡単にできたりと、スムーズに手続きすることができ、便利になります。

現在、4月からの導入に向けて準備中です。詳細が決まりましたら、ご案内いたしますので、楽しみにしててください。